

上高地

(中部山岳国立公園)

日本初の山岳リゾート
「上高地」の巨樹を楽しむ



上高地は、1933年に日本で初の山岳リゾートホテルが開業し、自然を満喫しながら快適に過ごせる憧れの場所です。

上高地を代表する樹木といえば、梓川の河畔に生育するケショウヤナギやバスターミナル付近に広がるカラマツ林でしょう。梓川沿いにのびる自然遊歩道では、素晴らしい景色を楽しみながら、ハルニレやカラマツの巨樹を見ることができます。



【アクセス】

上高地へは年間を通してマイカーでは入れないため、公共交通機関での移動がおすすめです。便数の多いアクセス方法は以下。

- ・ 電車：「松本駅」から松本電鉄上高地線で「新島々駅」下車、路線バスまたはタクシーで上高地まで約1時間30分
- ・ 直行バス：関東では「東京駅」「新宿駅」、中部では「名古屋駅」、関西では「大阪駅」など各地から乗り換えなしで上高地へ直行（要予約）

※ 上高地は、冬期（11月中旬から4月中旬まで）は閉鎖されます。開山期間の詳細は上高地ビジターセンターのウェブサイト (<https://www.kamikochi-vc.or.jp/>) 等をご参照ください。

1 まずは足慣らしでハルニレまで 大正池ホテルの横のハルニレ

ハルニレは上高地の巨樹14種117本*中50本を占める、上高地の巨樹でいちばん多い樹種。なかでもこの木は上位の大きさで、上高地の玄関口である大正池のほとりで訪れる人を出迎えてくれます。



※ 榑田(2007)「上高地地区の巨木調査」による

【幹周り】440cm 【樹高】20m 【樹齢】不明
【所在地】緯度: 36度13分44秒
経度: 137度37分10秒

4 キャンプ場の爽やかな2本 徳沢キャンプ場のハルニレとカツラ

広々とした芝生のテントサイトの中央にすくっと立つ姿が爽やかな2本の巨樹。上高地のハルニレの巨樹50本のうち30本が徳沢周辺に集中していますが、これらの巨樹は昔から大切に残されているのだと思うれます。5月中旬には新緑に、10月中旬には紅葉に彩られます。



ハルニレ (写真右)
【幹周り】393cm 【樹高】14m 【樹齢】不明
カツラ (写真左)
【幹周り】510cm 【樹高】14m 【樹齢】不明
【所在地】緯度: 36度15分55秒
経度: 137度41分25秒

2 上高地といえばケショウヤナギ 河童橋右岸のケショウヤナギ(5本)

上高地のシンボルともいえる河童橋脇に、上高地を代表する植物であるケショウヤナギの大木があります。巨樹というには幹周りが小さめですが、他の植物が生育できない生育基盤の不安定な礫質の河原で育ち、寿命も100年程度といわれるケショウヤナギとしては、なかなかの大きさといえるでしょう。



【幹周り】240cm 【樹高】13m 【樹齢】不明
【所在地】緯度: 36度14分56秒
経度: 137度38分15秒

5 腰の曲がった大きなカラマツ 水戸黄門カラマツ

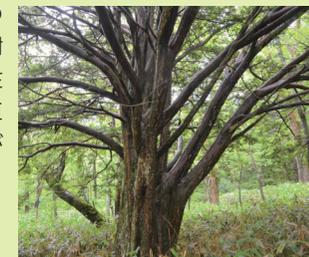
このカラマツは腰が曲がったような特徴的な形をしており、両脇に生えたウラジロモミの若木が、助さん、格さんが控えているように見えたことから、地元ガイドさんが「水戸黄門」と紹介するようになったそうです。現在では、片方のお伴の若木は枯れて切られてしまっています。カラマツは黄葉が美しく、金色の雨のように降るカラマツの落葉はとても幻想的。



【幹周り】458cm 【樹高】18m 【樹齢】不明
【所在地】緯度: 36度15分04秒
経度: 137度38分55秒

3 素晴らしい風景のなかに立つイチイ 梓川右岸のイチイ

イチイは常緑針葉樹で、成長が遅いため材は緻密で耐久性があり、赤みがかった芯材はいい艶が出るため彫刻や細工物に使われてきました。河童橋・明神自然探勝道の「梓川右岸コース」にはこのイチイの他にも針葉樹の巨樹が点在しており、巨樹を眺めながら散歩することができます。



【幹周り】340cm 【樹高】12m 【樹齢】不明
【所在地】緯度: 36度15分12秒
経度: 137度38分14秒

【巨樹・巨木林調査とは?】

環境省では、地上130cmの幹周りが300cm以上の木を対象に、自然環境保全基礎調査の一環として、昭和63(1988)年から「巨樹・巨木林調査」を実施しています。

巨樹・巨木林の情報は「巨樹・巨木林データベース」ウェブサイトをご覧ください。
<https://kyoju.biodic.go.jp/>



【全国巨樹・巨木林の会】

巨樹・巨木林にご関心のある方は、「全国巨樹・巨木林の会」にアクセス! 巨樹・巨木林の観察会、機関誌「巨樹・巨木林」の発行、「巨木を語る全国フォーラム」の開催など、巨樹・巨木林に関する活動を行っています。

<http://www.kyoju.com/>



上高地

(中部山岳国立公園)



日本初の山岳リゾート
「上高地」の巨樹を楽しむ

穂高連峰



4

キャンプ場の爽やかな2本 徳沢キャンプ場の ハルニレとカツラ

ハルニレ [幹周り] 393cm [樹高] 14m [樹齢] 不明	カツラ [幹周り] 510cm [樹高] 14m [樹齢] 不明
--	---

2

上高地といえばケショウヤナギ 河童橋右岸の ケショウヤナギ (5本)

[幹周り] 240cm
[樹高] 13m
[樹齢] 不明

3

素晴らしい風景のなかに立つイチイ 梓川右岸のイチイ

[幹周り] 340cm
[樹高] 12m
[樹齢] 不明

1日目

河童橋

片道徒歩1時間 15分程度 (片道 3.8km)

* バス停「大正池」で降りて片道だけを歩くのもおすすめ

1 大正池ホテルの横のハルニレ

* 上高地で1泊。
2日目は、中級者向けの少し歩きたがえのあるコースになります。

2日目

2 河童橋右岸のケショウヤナギ (5本)

徒歩 30分程度 (0.5km)

3 梓川右岸のイチイ

徒歩 2時間 30分程度 (5km)

4 徳沢キャンプ場のハルニレとカツラ (折り返し地点)

徒歩 2時間程度 (4km)

5 水戸黄門カラマツ

徒歩 1時間程度 (1.5km)



【上高地ビジターセンター】

上高地ビジターセンターは、河童橋から上流に向かって梓川の左岸を進み、清水川の橋を渡ったところにあります。上高地の自然に関する展示、野外での自然教室、映像の上映やレクチャーなどを通して、上高地の自然への理解と自然に親しむために必要な情報の提供を行っています。

館内のガイドカウンターでは、天気情報や注意情報なども提供しており、ガイドウォーク(有料)の申し込み受け付けも行っています。



[開館期間] 4月中旬～11月15日 (上高地開山期間無休) ※冬期閉館

[開館時間] 8:00 ~ 17:00

[入館料金] 無料

[所在地] 〒390-1516 長野県松本市安曇上高地4468
TEL: 0263-95-2606

[ウェブサイトURL] <https://www.kamikochi-vc.or.jp/>

1

まずは足慣らしでハルニレまで 大正池ホテルの横の ハルニレ

[幹周り] 440cm
[樹高] 20m
[樹齢] 不明

5

腰の曲がった大きなカラマツ 水戸黄門カラマツ

[幹周り] 458cm
[樹高] 18m
[樹齢] 不明